

巡回拠点なでしこ

かがやき

つうしん

北区立なでしこ小学校校長 戸倉 務
巡回拠点なでしこ 巡回指導教員
令和6年3月1日発行 第12号
巡回拠点なでしこ直通: 3901-2622



早いもので、今年度最後の月となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃よりご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

各校では、6年生は卒業に向けて、1～5年生は進級に向けて、1年間のまとめに取り組んでいるところです。特別支援教室でも、1年間の振り返りを行い、子供自身が成長したことを実感し、自信をもって進級できるように、支援して参ります。



★今後の予定★

保護者面談（3月）	3月 4日（月）～15日（金）
2学期巡回指導終了	3月11日（月）

★新年度の巡回指導について★

4月中旬から指導開始予定です。担当教員や指導の時間割等については、新年度が始まってからご連絡いたします。

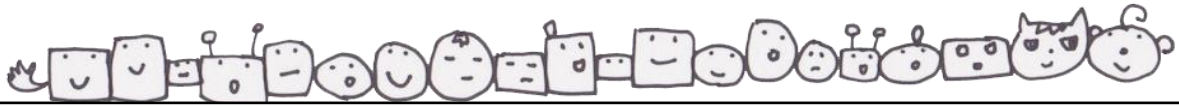
★保護者面談・確認書について★

保護者面談の日程調整にご協力くださりありがとうございました。お知らせいたしました日時で来校をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

- ①来年度も継続して巡回指導を受ける方・・・「特別支援教室に関する確認書」にて、来年度の指導内容を確認いたします。内容を確認した上でご署名していただきます。
- ②卒業後も、中学校で巡回指導を受ける方・・・「特別支援教室における確認書」にて、来年度の指導内容を確認いたします。内容を確認した上でご署名していただき、年度明けに、進学する中学校の方へご提出をお願いいたします。

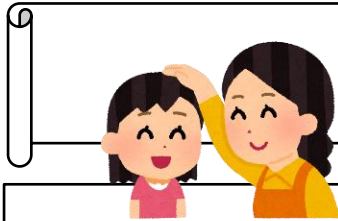
★連絡ファイルについて★

来年度も巡回指導を受ける方は、ファイルも継続して使用します。中のプリント類を抜き、4月最初の指導にお子さんに持たせてください。

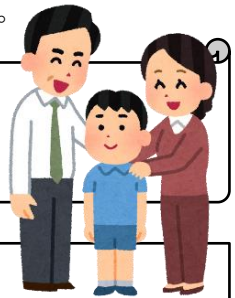


今月のテーマ：子供の心に響く褒め方

昨今の子育てに関する傾向として、「褒めて伸ばそう」と言われることが多くあります。褒めることはとても重要な一方で、「褒めれば誰でも伸びる」という錯覚に陥ってしまう恐れもあります。長く褒めても聞いていなかったり、子供が褒めてほしいポイントとずれて褒めても、素直に喜ばなかったりする場面が見られます。そこで、ご家庭でもできる効果的な褒め方をご紹介します。



効果的な褒め方は、「短く・太く」
上級テクニック「時間差褒め」



① 感動詞を使う

「ああ！（納得）」、「いいね！（同意）」、「うーん！（降参）」、「えーっ！（驚く）」、「おお！（感嘆）」などの感動詞は、「子供の発言や行動に心が動かされた。」という気持ちを短く・太く、ダイレクトに伝えることができます。

②問題のない行動のときは、すべて肯定する気持ちを伝える

「それぞれ！」、「そのまま続けて！」、「今のペースで！」など、子供の今の行動が適切であることを伝えて、その行動を後押しする意図を伝えます。

③大人びた子供には、難しめの言葉をあえて用いる

「秀逸だね！」、「卓越してるね！」、「絶妙だね！」などの言葉をあえて用いることで、子供扱いをしていないことを伝えることができます。

④言葉以外のメッセージに気を配る

どんな言葉よりも、大人のよい表情にはかないません。優しい表情やぬくもりのある声のトーン、子供を尊重した関わりなど、言葉以外のメッセージは、子供に安心感をもたらします。



⑤「上級テクニック」時間差で褒める

「そういえば、この前も片付けを手伝ってくれたね。」など、褒める材料を取っておき、あえて時間を少し空けてから使う方法です。あえて時間を空けて褒めることで、子供も「ちゃんと見てくれているんだ。」という信頼感を抱くとともに、「大人の心に残ることをした。」という自尊心を高めることにつながります。

参考文献：『子どもの心の受け止め方』川上康則著 光村図書

